

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

<b>教科名</b>	<b>国語</b>	<b>単位数</b>	<b>2</b>	<b>単位</b>
<b>科目名</b>	<b>現代文</b>	<b>対象学年</b>	<b>3</b>	<b>学年</b>
<b>科目分類</b>	<b>必修</b>	<b>授業形態</b>	<b>一斉</b>	<b>授業</b>
<b>教科書</b>	『精選現代文B 新訂版』(大修館書店)	<b>担当者</b>	<b>鳥羽 山崎</b>	
<b>使用教材</b>	『トータルサポート 新国語便覧』(大修館書店) 『書いて覚える漢字練習ノート』(京都書房) 『現代文単語』(いいずな書店)			
<b>学習内容</b>	<b>ねらい</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国語総合」で培った基礎力をもとに、さまざまな近代以降の文章を読む。</li> <li>・文章を通してものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現することで、人生を豊かにする態度を育てる。</li> <li>・自らの疑問に基づいた問を設定するなど、自身と学習内容の関連を意識させるような授業を展開する。</li> </ul>		
	<b>1学期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。</li> <li>・様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深める。</li> </ul> <p style="text-align: center;">≪具体的な教科書単元≫</p> 評論文：「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」「実体の美と状況の美」 小説文：「赤い繭」「待つ」	<b>授業時間</b>	<b>24</b>
	<b>2学期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・文学的な文章について人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。</li> <li>・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにし、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。</li> <li>・目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで表現する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">≪具体的な教科書単元≫</p> 評論文：「である」ことと「する」こと 小説文：「舞姫」	<b>授業時間</b>	<b>26</b>
	<b>3学期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・文学的な文章について人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。</li> <li>・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにし、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。</li> <li>・目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで表現する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">≪具体的な教科書単元≫</p> 評論文：「日本文化の三つの時間」	<b>授業時間</b>	<b>20</b>
<b>評価観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代文を読むための基礎を確実に身につけることができたか。</li> <li>・現代文特有の表現や技法について理解を深めることができたか。</li> <li>・現代文を読み、そこに表れた美意識、ものの見方や感じ方を正確に学ぶことができたか。</li> <li>・思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語文化に対する関心を深めることができたか。</li> </ul>			
<b>評価方法</b>	・中間テスト・期末テスト・小テストの結果、ワークシートへの取組状況、感想文、課題追究学習における報告書の内容・問題意識・学習に対する参加姿勢など、学習活動全般における学力の伸長や態度や姿勢を総合して評価する。			
<b>備考</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の生活や経験などと関連させて授業内容を理解させる。</li> <li>・創意工夫して、適宜表現活動なども取り入れる。</li> <li>・進捗状況に応じて適宜自主プリントを使用する。</li> <li>・各クラスの学力および進捗状況に応じて、適宜教材の選択を行う。</li> </ul>			

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>国語</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>現代文B</b>	対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	『精選現代文B 新訂版』（大修館書店）	担当	<b>山崎</b>	
使用教材	大学入試国語頻出問題1200四訂版（いいずな書店） 現代文アチーブ四訂版（桐原書店） 現代文読解基礎ドリル（駿台文庫）			
学習内容	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国語総合」・現代文B(第二学年で履修)で培った基礎力をもとに、幅広くさまざまな現代の文章を読む。</li> <li>・近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。</li> </ul>		
	1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。</li> <li>・様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深める。</li> </ul> <p>《具体的な教科書単元》 「こころは見える?」「ミロのヴィーナス」「文化と文明の教育」「たけくらべ」</p>	授業時間 <b>24</b> 時間	
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。</li> <li>・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにし、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。</li> <li>・目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで表現する。</li> </ul> <p>《具体的な教科書単元》 「心に海をもって」「分かちあう社会」「永訣の朝」など</p>	授業時間 <b>26</b> 時間	
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。</li> <li>・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにし、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。</li> <li>・目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで表現する。</li> </ul> <p>《具体的な教科書単元》 「I was born」「短歌・俳句」など</p>	授業時間 <b>20</b> 時間	
評価観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代文読解の基礎を確実に身につけ、応用を試みているか。</li> <li>・現代文特有の表現や技法について理解を深めているか。</li> <li>・現代文を読み、そこに表れた美意識、ものの見方や感じ方を正確に学び取っているか。</li> <li>・思考力を伸ばし、言語文化に対する関心を深めることができたか。</li> </ul>			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の成績</li> <li>・提出物及び小テスト</li> <li>・出席状態</li> <li>・学習に対する参加姿勢</li> </ul>			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必修現代文Bの授業内容と関連付けながら行う。</li> <li>・創意工夫して、適宜表現活動なども取り入れる。</li> <li>・アクティブラーニングの一環として、適宜グループでの活動も取り入れる。</li> <li>・大学入試にも対応するような演習問題を積極的に取り入れる。</li> <li>・各クラスの学力および進捗状況に応じて、適宜教材の選択を行う。</li> </ul>			

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>国語</b>		単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>現代文B</b>		対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>自由選択</b>		授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	『精選現代文B 新訂版』（大修館書店）		担当	<b>猪狩</b>	
使用教材	大学入試国語頻出問題1200四訂版（いいずな書店） 現代文アチーブ四訂版（桐原書店） 現代文読解基礎ドリル（駿台文庫）				
学習内容	ねらい	・「国語総合」・現代文B(第二学年で履修)で培った基礎力をもとに、幅広くさまざまな現代の文章を読む。 ・近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。			
	1学期	・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深める。  ≪具体的な教科書単元≫ 「こころは見える?」「ミロのヴィーナス」「文化と文明の教育」「たけくらべ」	授業時間	<b>24</b>	時間
	2学期	・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにし、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで表現する。 ≪具体的な教科書単元≫ 「心に海をもって」「分かちあう社会」「永訣の朝」など	授業時間	<b>26</b>	時間
	3学期	・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにし、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで表現する。 ≪具体的な教科書単元≫ 「I was born」「短歌・俳句」など	授業時間	<b>20</b>	時間
評価観点	・現代文読解の基礎を確実に身につけ、応用を試みているか。 ・現代文特有の表現や技法について理解を深めているか。 ・現代文を読み、そこに表れた美意識、ものの見方や感じ方を正確に学び取っているか。 ・思考力を伸ばし、言語文化に対する関心を深めることができたか。				
評価方法	・定期考査の成績 ・提出物及び小テスト ・出席状態 ・学習に対する参加姿勢				
備考	・必修現代文Bの授業内容と関連付けながら行う。 ・創意工夫して、適宜表現活動なども取り入れる。 ・アクティブラーニングの一環として、適宜グループでの活動も取り入れる。 ・大学入試にも対応するような演習問題を積極的に取り入れる。 ・各クラスの学力および進捗状況に応じて、適宜教材の選択を行う。				

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

<b>教科名</b>	<b>国語</b>		<b>単位数</b>	<b>2</b>	<b>単位</b>
<b>科目名</b>	<b>古典B</b>		<b>対象学年</b>	<b>3</b>	<b>学年</b>
<b>科目分類</b>	<b>必修選択</b>		<b>授業形態</b>	<b>一斉</b>	<b>授業</b>
<b>教科書</b>	『精選 古典B 改訂版』（大修館書店）		<b>担当</b>	鳥羽	
<b>使用教材</b>	『新国語便覧』（大修館書店） 『高校生の古典文法』（京都書房） 『古文単語330』（いっずな書店）				
<b>学習内容</b>	<b>ねらい</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学受験に対応した学力を身につけ、演習問題に取り組む中で実力練成を図る。</li> <li>・国語総合で培った基礎力をもとに、幅広く古典としての古文と漢文を読む。</li> <li>・我が国の文化と伝統に対する関心を深める。</li> <li>・生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。</li> </ul>			
	<b>1学期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文を読み味わうための学力を身につける。</li> <li>・古人の知恵や生き方に触れ、古文と漢文を読む楽しさを知る。</li> <li>・古文の文体・句法に習熟し、内容を理解する力を身につける。</li> </ul> ≪具体的な教科書単元≫ 『古今著聞集』『枕草子』『大鏡』 寓話、漢詩	<b>授業時間</b>	<b>24</b>	<b>時間</b>
	<b>2学期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文特有の表現や技法について理解を深める。</li> <li>・古文を読み、そこに表れたものの見方や感じ方を学ぶ。</li> <li>・古文と和歌に表れた日本人の美意識について理解を深める。</li> <li>・古文の文体に慣れ、内容を理解する力を身につける。</li> </ul> ≪具体的な教科書単元≫ 『蜻蛉日記』『和泉式部日記』『源氏物語』 史伝	<b>授業時間</b>	<b>26</b>	<b>時間</b>
	<b>3学期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文特有の表現や技法について理解を深める。</li> <li>・古文を読み、そこに表れたものの見方や感じ方を学ぶ。</li> <li>・古文に表れた日本人の美意識について理解を深める。</li> </ul> ≪具体的な教科書単元≫ 『無明草子』『曾根崎心中』など 思想	<b>授業時間</b>	<b>20</b>	<b>時間</b>
<b>評価観点</b>	1 授業の参加状態 2 授業の趣旨にあった学習の遂行 3 授業内容の理解の有無				
<b>評価方法</b>	1 定期考査の成績 2 提出物と小テスト 3 出席状態				
<b>備考</b>					

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>国語</b>		単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>古典B</b>		対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>自由選択</b>		授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	『精選 古典B 改訂版』（大修館書店）		担当	鳥羽	
使用教材	「古文アチーブ2三訂新版」（桐原書店） 「新版古典文法習得のための敬語マスターノート」（数研出版） 「新版古典文法習得のための助詞マスターノート」（数研出版） 「新版文章で理解する助動詞マスターワーク」（数研出版）				
学習内容	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学受験に対応した学力を身につける。</li> <li>・ 国語総合で培った基礎力をもとに、幅広く古典としての古文を読む。</li> <li>・ 我が国の文化と伝統に対する関心を深める。</li> <li>・ 生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。</li> </ul>			
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古文を読み味わうための学力を身につける。</li> <li>・ 基本古語・文法をブラッシュアップする。</li> <li>・ 古文の文体に習熟し、内容を理解する力を身につける。</li> <li>・ 古人の知恵や生き方に触れ、古文を読む楽しさを知る。</li> </ul>	授業時間	<b>24</b>	時間
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古文特有の表現や技法について理解を深める。</li> <li>・ 古文読み、そこに表れたものの見方や感じ方を学ぶ。</li> <li>・ 古文と和歌に表れた日本人の美意識について理解を深める。</li> <li>・ センターや私大の過去問を解き、大学入試の出題形式に慣れる。</li> </ul> ≪具体的な教科書単元≫ 『紫式部日記』『大鏡』『俊頼髓脳』	授業時間	<b>26</b>	時間
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古文特有の表現や技法について理解を深める。</li> <li>・ 古文を読み、そこに表れたものの見方や感じ方を学ぶ。</li> <li>・ 古文と和歌に表れた日本人の美意識について理解を深める。</li> <li>・ 共通テストや私大の過去問を解き、大学入試の出題形式に慣れる。</li> </ul> ≪具体的な教科書単元≫ 『風姿花伝』『源氏物語玉の小櫛』	授業時間	<b>20</b>	時間
評価観点	1 授業の参加状態 2 授業の趣旨にあった学習の遂行 3 授業内容の理解の有無				
評価方法	1 提出物と小テスト 2 出席状態				
備考					

## 令和5年度 シラバス（授業計画）

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>4</b>	単位
科目名	<b>世界史B</b>	対象学年	<b>3</b>	特進
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	新詳世界史B (帝国書院)	担当者	山下裕樹子	
使用教材	アカデミア世界史（浜島書店）			
学習内容	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学受験希望者に、受験に必要な知識を身に付けさせる。</li> <li>・時代ごとに世界をとらえる授業と問題演習を通して、受験の実践的な力を身に付けさせる。</li> </ul>		
	1学期	欧米における近代国民国家の発展 帝国主義と列強の展開 二つの世界大戦	授業時間	48 時間
	2学期	現代史 古代史 西ヨーロッパ中世世界の変容 近世ヨーロッパ世界の形成・展開	授業時間	52 時間
	3学期	問題演習	授業時間	40 時間
評価観点	1 学習の成果 2 課題の達成状況 3 授業に取り組む姿勢			
評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。			
備考				

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	公民		単位数	2	単位
科目名	政治・経済		対象学年	3	学年
科目分類	必修選択		授業形態	一斉	授業
教科書	政治・経済（東京書籍）		担当者	柴田 淳也	
使用教材	池上彰監修 ライブ！現代社会2022 （帝国書院）				
学習内容	ねらい	現代の政治・経済・国際関係等、基礎的な知識について理解させるとともに、関係する諸課題について考察、公正な判断力を養うことで、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代の資本主義経済</li> <li>・ 現代経済のしくみ</li> <li>・ 日本経済の発展と産業構造の変化</li> </ul>	授業時間	24	時間
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉社会と日本経済の課題</li> <li>・ 国民経済と国際経済</li> <li>・ 現代社会の諸課題</li> </ul>	授業時間	26	時間
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代の政治のまとめ</li> <li>・ 大学入試対策演習</li> </ul>	授業時間	20	時間
評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習の成果</li> <li>2 課題の達成状況</li> <li>3 授業に取り組む姿勢</li> </ol>				
評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。				
備考					

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>4</b>	単位
科目名	<b>日本史B</b>	対象学年	<b>3</b>	特進
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	詳説日本史 改訂版 (山川出版社)	担当者	渡邊 愛	
使用教材	図説 日本史通覧			
学習内容	ねらい	古代から近世までの社会や文化の特色、成り立ちを理解する。その理解は国際環境、地理的環境と関連付けて考察することにより深める。現代の諸課題との関連性を認識する。		
	1 学期	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権	<b>40</b>	授業時間
		第2章 律令国家の形成 1 飛鳥の朝廷 2 律令国家への道 3 平城京の時代 4 平安王朝の形成		時間
	2 学期	第3章 貴族政治 1 摂関政治 2 地方政治の展開と武士	<b>70</b>	授業時間
		第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府衰退		時間
	3 学期	第5章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 戦国大名の登場	<b>30</b>	授業時間
第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 幕藩体制の成立 3 幕藩社会の構造		時間		
	テーマ史 (土地制度、税制、外交、社会経済) 大学入試対策問題演習 現代史の探求	<b>30</b>	授業時間	
			時間	
評価観点	1 学習の成果 2 授業に取り組む姿勢 3 課題の達成状況			
評価方法	定期考査の素点を核とし、授業の取組、課題提出などを加味して総合的に評価する。			
備考				



# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>地歴公民</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>日本史B</b>	対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>自由選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	詳説日本史 改訂版 (山川出版社)	担当者	井上 昌	
使用教材	図説 日本史通覧			
学習内容	ねらい	近代国家の形成の過程、近代社会や文化の特色、現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察し、理解する。現代の諸課題との関連性、世界の中での日本の立場について認識する。		
	1 学期	第9章 近代国家の成立 1 日清・日露戦争      2 社会運動の発生 第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代	授業時間	24  時間
	2 学期	第10章 二つの世界大戦とアジア 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦 第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長 第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の変容	授業時間	26  時間
	3 学期	大学入試対策	授業時間	20  時間
評価観点	1 学習の成果 2 授業にとりくむ姿勢 3 課題の達成状況			
評価方法	上記の観点を点数化したうえで、必選日本史Bに連結して評価する。			
備考				

## 令和5年度 シラバス（授業計画）

教科名	地歴公民		単位数	2	単位
科目名	世界史B		対象学年	3	学年
科目分類	自由選択		授業形態	一斉	授業
教科書	新詳世界史B (帝国書院)		担当者	山本治輝	
使用教材	最新世界史図説 タペストリー (帝国書院)				
学習内容	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学受験希望者に、受験に必要な知識を身につけさせる。</li> <li>・東アジア史を中心とした授業と問題演習を通して、受験の実践的な力を身につけさせる。</li> </ul>			
	1学期	中国の古代文明 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成 東アジア諸地域の自立化	授業時間	24	時間
	2学期	モンゴルの大帝国 東アジア世界の動向 清代の中国と隣接諸地域 東アジアの激動	授業時間	26	時間
	3学期	アジア諸国の改革と民族運動 アジア・アフリカ地域の民族運動 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立	授業時間	20	時間
評価観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 学習の成果</li> <li>2 課題の達成状況</li> <li>3 授業に取り組む姿勢</li> </ul>				
評価方法	定期考査の素点を基本とし、課題提出などをこれに加味して総合的に評価する。				
備考					

# 令和5年度 シラバス（授業計画）

教科名	数学	単位数	4	単位
科目名	数学 I 理系	対象学年	3	学年
科目分類	必修選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学 I + A（数研出版）	担当者	田草川	
使用教材	リンク数学演習Ⅲ 受験編 approach+basic+challenge（数研出版）			
学習内容	ねらい	数学 I・A の復習及び、入試問題を視野に入れた応用力を養う。		
	1 学期	1 数と式 2 2次関数 3 図形と計量	授業時間	55 時間
	2 学期	4 データの分析 5 場合の数と確率 6 図形の性質 9 整数の性質	授業時間	55 時間
	3 学期	問題演習	授業時間	30 時間
	評価観点	1 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3 主体的に授業に取り組んでいたか。		
	評価方法	1 定期考査の素点 2 平常点（出席状況、授業態度、提出物等の提出状況およびその理解度）		
備考				

# 令和5年度 シラバス（授業計画）

教科名	数学		単位数	6	単位
科目名	数学Ⅲ		対象学年	3	学年
科目分類	必修選択		授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学Ⅲ（数研出版）		担当者	我妻	
使用教材	リンク数学演習Ⅲ 受験編 approach+basic+challenge（数研出版）				
学習内容	ねらい	数学における基本的な概念や原理法則の理解をする。 基礎的な知識の習得と技能の習熟。 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす。			
	1学期	関数 極限	分数関数、無理関数、逆関数と合成関数 数列の極限 関数の極限	80	授業時間 時間
		微分法	微分係数と導関数 導関数の計算 いろいろな関数の導関数 高次導関数 関数のいろいろな表し方と導関数		
	2学期	微分法の応用 第3章 三角関数	導関数の応用 速度と近似式	80	授業時間 時間
		積分法とその応用 第4章 指数関数・対数関数 問題演習	不定積分 定積分 積分法の応用 大学入試問題		
	3学期	問題演習	大学入試問題	50	授業時間 時間
評価観点	1 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3 主体的に授業に取り組んでいたか。				
評価方法	1 定期考査の素点 2 課題点（課題提出物等の提出状況およびその理解度）				
備考					

## 令和5年度 シラバス（授業計画）

教科名	数学	単位数	2	単位
科目名	数学 I	対象学年	3	学年
科目分類	自由選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学 I + A（数研出版）	担当者	田草川	
使用教材	リンク数学演習Ⅲ 受験編 approach+basic（数研出版）			
学習内容	ねらい	数学 I Aの復習及び、入試問題を視野に入れた解答力を養う。		
	1 学期	1 数と式 2 2次関数 3 図形と計量	授業時間	24 時間
	2 学期	4 データの分析 5 場合の数と確率 6 図形の性質 7 整数の性質	授業時間	26 時間
	3 学期	過去問演習 入試対策	授業時間	20 時間
評価観点	1 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1 定期考査の素点 2 平常点（出席状況、授業態度、提出物等の提出状況およびその理解度）			
備考				

## 令和5年度 シラバス（授業計画）

教科名	数学	単位数	2	単位	
科目名	数学Ⅱ	対象学年	3	学年	
科目分類	自由選択	授業形態	一斉	授業	
教科書	改訂版高等学校数学Ⅱ+B（数研出版）	担当者	我妻		
使用教材	リンク数学演習Ⅲ 受験編 approach+basic+challenge（数研出版）				
学習内容	ねらい	数学ⅡBの基礎力の徹底と、大学入試問題に対応できる学力の向上を図る。			
	1学期	数学Ⅱ及び数学Bの復習	授業時間	24 時間	
	2学期	数学Ⅱ及び数学Bの復習 過去問演習 入試対策	授業時間	26 時間	
	3学期	過去問演習 入試対策	授業時間	20 時間	
	評価観点	1 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3 主体的に授業に取り組んでいたか。			
	評価方法	1 定期考査の素点 2 課題点（課題提出物等の提出状況およびその理解度）			
備考					

# 令和5年度 シラバス（授業計画）

教科名	<b>理科</b>		単位数	<b>6</b>	単位
科目名	<b>物理</b>		対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>必修選択</b>		授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	<b>物理（啓林館）</b>		担当者	小河原 哲佳	
使用教材	セミナー 物理＋物理基礎（第一学習社） 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 物理				
学習内容	ねらい	物理基礎で学んだ知識を基に、物理の世界を広く深く学び、物理的思考力を養う。また、問題演習にも重点をおき、大学入試問題（一般受験）程度の問題の演習と解説を行う。			
	1 学期	1 さまざまな運動 1-1 平面内の運動と剛体のつり合い 1-2 運動量の保存 1-3 円運動と単振動 1-4 万有引力 1-5 気体分子の運動	授業時間	<b>72</b>	時間
	2 学期	2 波 2-1 波の伝わり方 2-2 音 2-3 光 3 電気と磁気 3-1 電荷と電場 3-2 磁場と電流	授業時間	<b>78</b>	時間
	3 学期	3-3 電磁誘導と電磁波 4 原子 4-1 電子と光 4-2 原子と原子核  総合問題の演習	授業時間	<b>60</b>	時間
評価観点	1 基本的な原理や法則を理解し、活用できるか。 2 演習を通して、物理の原理や法則を検証するとともに、物理的な思考力を養うことができるか。 3 意欲的・積極的に授業に取り組んでいたか。				
評価方法	1 定期考査の得点 2 授業に取り組む姿勢・態度・意欲 3 実験レポート・提出物（セミナー物理＋物理基礎）の内容と提出状況				
備考					

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>理科</b>		単位数	<b>4</b>	単位
科目名	<b>化学</b>		対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>必修選択</b>		授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	「化学」改訂版（啓林館）		担当者	青柳	
使用教材	セミナー化学基礎+化学（第一学習社） フォローアップドリル無機・有機・高分子(数研)				
学習内容	ねらい	2年次で学習した内容を復習すると共に、化学へと発展させる。 理解しやすい基本を中心に、上級学校において役立つ化学の基礎を学習する。			
	1学期	第1章物質の状態 1節化学結合と結晶 (1)イオン結晶                            (2)分子結晶 2節物質の三態 (1)粒子の運動と状態変化                            (2)物質の構造と融点・沸点 3節気体の性質 (1)ボイルシャルルの法則                            (2)気体の状態方程式 4節溶液の性質	授業時間	48 時間	
	2学期	第2章物質の変化と平衡 3節反応の速さ (1)反応速度を変える条件                            (2)反応のしくみ 4節化学平衡 (1)可逆反応と化学平衡                            (2)化学平衡の移動 第5章高分子化合物 1節高分子化合物 (1)高分子化合物の分類と特徴	授業時間	52 時間	
	3学期	2節天然高分子化合物 (1)糖類                            (2)タンパク質 第4章材料の化学 (1)プラスチックの特徴 (2)熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂 (3)機能性高分子化合物 (4)合成ゴム	授業時間	40 時間	
評価観点	1 基本事項を理解し、化学の表現方法や量的な取り扱いができるか。 2 化学反応の基本を理解したか。 3 主体的に実験等に取り組んだか。 4 応用力を身につけられたか。				
評価方法	定期考査・小テスト等による学習内容の理解度、授業への取り組み、および学習課題の提出状況を総合的に評価する。				
備考					



# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>理科</b>	単位数	<b>4 単位</b>
科目名	<b>生物</b>	対象学年	<b>3 学年</b>
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉 授業</b>
教科書	<b>数研出版 改訂版 生物</b>	担当者	<b>岡本 情一</b>
使用教材	<b>第一学習社 スクエア最新図説生物</b> <b>第一学習社 セミナー生物</b>		
<b>学習内容</b>	<b>ねらい</b>	生命現象の本質をとらえ、生命に対する興味・関心を養う。 実験レポートの作成を通じて、生物を探究する能力を養う。	
	<b>1 学期</b>	< 1 > 生命現象と物質 ① 生体機能とタンパク質 ・タンパク質の構造、酵素と酵素作用 ② 同化と異化 ・代謝、炭酸同化のしくみ ・好気呼吸、発酵のしくみ ③ タンパク質の働き ・筋収縮に働くタンパク質	授業時間  <b>48</b>  時間
	<b>2 学期</b>	・免疫に働くタンパク質 ④ 形質発現と核酸 ・DNAの構造と複製 ・遺伝暗号とタンパク質 ・遺伝情報の利用とバイオテクノロジー < 2 > 生物の進化と分類 ① 生物の進化 ② 進化のしくみ	授業時間  <b>52</b>  時間
	<b>3 学期</b>	・進化説の発展 ③ 生物の分類と系統	授業時間  <b>40</b>  時間
<b>評価観点</b>	1 生物に関する概念や現象、法則性を理解したか 2 実験、観察を通して、生物を探究する方法、考察力を養うことができたか 3 意欲的・積極的に授業に取り組んでいたか 4 レポートの作成を通じて、生命を探究する態度は養えたか。		
<b>評価方法</b>	1 定期考査(前期、後期)及び小テスト 2 実験レポート、課題等の内容及び提出状況 3 授業、実験、課題等への参加態度及び取り組み状況 以上を点数化し、総合的に評価する		
<b>備考</b>			

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>理科</b>	単位数	<b>4</b>	単位
科目名	<b>化学</b>	対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	「化学」改訂版（啓林館）	担当者	青柳	
使用教材	セミナー化学基礎+化学（第一学習社） フォローアップドリル無機・有機・高分子(数研)			
学習内容	ねらい	2年次で学習した内容を復習すると共に、化学へと発展させる。理解しやすい基本を中心に、上級学校において役立つ化学の基礎を学習する。		
	1学期	第1章物質の状態 1節化学結合と結晶 (1)イオン結晶                      (2)分子結晶 2節物質の三態 (1)粒子の運動と状態変化      (2)物質の構造と融点・沸点 3節気体の性質 (1)ボイルシャルルの法則      (2)気体の状態方程式 4節溶液の性質	授業時間  <b>48</b>  時間	
	2学期	第2章物質の変化と平衡 3節反応の速さ (1)反応速度を変える条件      (2)反応のしくみ 4節化学平衡 (1)可逆反応と化学平衡      (2)化学平衡の移動 第5章高分子化合物 1節高分子化合物 (1)高分子化合物の分類と特徴	授業時間  <b>52</b>  時間	
	3学期	2節天然高分子化合物 (1)糖類                              (2)タンパク質 第4章材料の化学 (1)プラスチックの特徴 (2)熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂 (3)機能性高分子化合物 (4)合成ゴム	授業時間  <b>40</b>	
評価観点	1 基本事項を理解し、化学の表現方法や量的な取り扱いができるか。 2 化学反応の基本を理解したか。 3 主体的に実験等に取り組んだか。 4 応用力を身につけられたか。			
評価方法	定期考査・小テスト等による学習内容の理解度、授業への取り組み、および学習課題の提出状況を総合的に評価する。			
備考				

## 令和5年度 シラバス（授業計画）

教科名	<b>理科</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>物理基礎</b>	対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>自由選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	<b>物理基礎 改訂版（啓林館）</b>	担当者	小河原 哲佳	
使用教材	セミナー 物理＋物理基礎（第一学習社）			
学習内容	ねらい	2年次では扱わなかった発展分野の内容を取り上げ、物理に対する理解をより一層深める。問題演習に重点を置き、大学受験（センター試験レベル）に対応できる実践力を身につける。		
	1学期	1 物体の運動 1-1 運動の表し方 1-2 力 1-3 運動の法則 2 エネルギー 2-1 運動とエネルギー 2-2 熱とエネルギー	授業時間	<b>24</b>
	2学期	3 波 3-1 波の性質 3-2 音 4 電気 4-1 電流 4-2 電気の利用	授業時間	<b>26</b>
	3学期	総合問題の演習 センター試験対策	授業時間	<b>20</b>
評価観点	1 2年次の物理基礎の授業を基に、より深く物理現象を理解し、論理的な思考力を養うことができたか。また発表を有効に活用できたか。 2 演習を通して、物理の原理や法則を正しく理解・活用することができたか。 3 意欲的・積極的に授業に取り組んでいたか			
評価方法	1 定期考査・小テストの得点 2 授業に取り組む姿勢・態度・意欲 3 実験レポートの内容と提出状況 4 演習問題の提出及び発表			
備考				

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>理科</b>		単位数	<b>2 単位</b>
科目名	<b>生物基礎</b>		対象学年	<b>3 学年</b>
科目分類	<b>自由選択</b>		授業形態	<b>一斉 授業</b>
教科書	数研出版 改訂版 生物基礎		担当者	栗原
使用教材	第一学習社 スクエア最新図説生物 第一学習社 セミナー生物基礎			
学習内容	ねらい	生物基礎の基礎的な内容を定着させるとともに、大学受験に対応できる、実践的な能力を身に付ける。		
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体内環境と体内環境の調節</li> <li>・ 免疫</li> <li>・ 生物の多様性と分布</li> <li>・ 気候とバイオーム</li> <li>・ 生態系とその保全</li> </ul>	授業時間	<b>24</b>
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物の多様性と共通性</li> <li>・ 生命活動とエネルギー</li> <li>・ 生物と遺伝子</li> <li>・ 遺伝情報の分布</li> <li>・ 遺伝情報とタンパク質の合成</li> </ul>	授業時間	<b>26</b>
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題演習</li> </ul>	授業時間	<b>20</b>
評価観点	学習内容の理解度、授業への参加の意欲、学習課題の提出状況			
評価方法	定期考査、小テスト、レポート、授業態度などを参考に総合的に評価する。			
備考				

## 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>保健体育</b>	単位数	<b>3 単位</b>
科目名	<b>体育</b>	対象学年	<b>3 学年</b>
科目分類	<b>必修</b>	授業形態	男女別・共修 授業
教科書	<b>大修館 最新高等保健体育</b>	担当	鈴木、前田、玉山 砂山、鎌田、柳澤
使用教材			

  

学習 内容	ね ら い	実践を通じて運動機能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができると共に、体力の向上と生涯を通じて継続的に運動を楽しむことができる能力を育てる。	
		1 学 期	オリエンテーション 50m走・1000m走(女子)1500m走(男子)計測 体育理論:体ほぐし、健康づくり 硬式テニス: サーブ・レシーブ技術・フォア・バックハンドストローク ゲーム運営 卓球: サーブ・レシーブ技術・フォア・バックハンドストローク ゲーム運営 ソフトボール:基本技術・連携技能・ゲーム運営 バドミントン:基本技術・連携技能・ゲーム運営 男子:バレーボール スパイク・レシーブ・サーブ・3段攻撃・ゲーム 女子:サッカー: パス・ドリブル・ボールキープ・シュート・3対2攻防・ゲーム 男女:水泳 クロール・平泳ぎ・背泳ぎ練習・記録測定
		授業時間	<b>36</b>
		時間	
2 学 期	男女:水泳 平・クロール50m練習・記録測定 体育理論:運動技能の上達 硬式テニス: サーブ・レシーブ技術・フォア・バックハンドストローク ゲーム運営 卓球: サーブ・レシーブ技術・フォア・バックハンドストローク ゲーム運営 ソフトボール:基本技術・連携技能・ゲーム運営 バドミントン:基本技術・連携技能・ゲーム運営 女子:バレーボール スパイク・レシーブ・サーブ・3段攻撃・ゲーム 男子:サッカー: パス・ドリブル・シュート・2対1、3対2攻防・ゲーム		
	授業時間	<b>39</b>	
	時間		
	授業時間	<b>30</b>	
3 学 期	硬式テニス: サーブ・レシーブ技術・フォア・バックハンドストローク ゲーム運営 卓球: サーブ・レシーブ技術・フォア・バックハンドストローク ゲーム運営 ソフトボール:基本技術・連携技能・ゲーム運営 バドミントン:基本技術・連携技能・ゲーム運営		
授業時間	<b>30</b>	時間	

  

評価観点	自己の能力に応じて、運動の技能を高めることができたか。意欲的に取り組むことができたか
評価方法	出席状況・各種運動への取り組む姿勢の態度・各種運動の技術テストを総合的に評価する
備考	2時間:男女別少人数制展開別体育4講座を4つの場所と種目をローテーションで行う 1時間:男女別1講座の授業サッカー/バレーボールを実施

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>芸術</b>		単位数	<b>2 単位</b>
科目名	<b>選択音楽</b>		対象学年	<b>3 学年</b>
科目分類	<b>自由選択</b>		授業形態	<b>一斉 授業</b>
教科書			担当	鈴木直子
使用教材	<b>配布プリント</b>			
<b>学習内容</b>	<b>ねらい</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路を見据え、音楽の諸活動から簡単なピアノおよびギター演奏、歌唱、さらに旋律の記譜や創作能力を養う。</li> <li>・日本の伝統音楽や諸外国の音楽にふれながら、音楽と社会や生活とのかかわりに関心を持ち、主体的に鑑賞する能力を高め、またより深く音楽文化を理解する。</li> <li>・周囲とのアンサンブルなどを通し、表現する喜びや感性豊かな表現活動をする力を養う。</li> </ul>		
	<b>1 学期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス（年間の授業の流れなど）</li> <li>・校歌、童謡、文科省唱歌などの斉唱、2声のヴォーカルアンサンブル完成</li> <li>・簡単なリズムアンサンブルとボディ・パーカッションの完成</li> <li>・楽典の基礎および発展知識を習得</li> <li>・ピアノの基礎知識と基本的な奏法の習得、進度に応じた課題曲の完成</li> </ul>	授業時間	<b>26</b> 時間
	<b>2 学期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・童謡、文科省唱歌などの弾き歌いの練習</li> <li>・楽典の基礎および発展知識を習得</li> <li>・ピアノの基礎知識と基本的な奏法の習得、進度に応じた課題曲の完成</li> <li>・箏、ギターの基礎知識と基本的な奏法の習得、および楽器の歴史を理解</li> <li>・学習成果発表会の開催</li> </ul>	授業時間	<b>30</b> 時間
	<b>3 学期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コードを用いた伴奏付の知識習得と実践</li> <li>・器楽合奏の完成</li> </ul>	授業時間	<b>14</b> 時間
<b>評価観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を自分なりに完成させ、かつ表現力豊かに発表できている。</li> <li>・音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち意欲的、主体的に音楽活動を行っている。</li> <li>・感性を働かせて音楽の諸要素を知覚し、音楽の良さ美しさを感じながら創造的に工夫している。</li> <li>・自分らしいイメージをもちながら創造的表現をする技能を身につけている。</li> </ul>			
<b>評価方法</b>	出席状況、授業態度、学習の取組状況、実技課題進捗状況、実技発表および試験、筆記試験、提出物、これらの観点を適宜組み合わせ、年間の成績を総合的に判断し評価する。			
<b>備考</b>				

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>芸術</b>	単位数	<b>2 単位</b>
科目名	<b>選択美術</b>	対象学年	<b>3 学年</b>
科目分類	<b>自由選択</b>	授業形態	<b>一斉 授業</b>
教科書		担当	笠原
使用教材	配布プリント、粘土、靴 アクリルガッシュ、鉛筆、画用紙		
学習内容	ねらい	「自然、自己、社会など」を深く見つめ、探究心を持ち、創造的で心豊かな表現の構想ができる。 多様な美術の表現に触れる中で生涯にわたって芸術文化を愛好する心情を育てる。	
	1 学期	●色彩学 色を見る仕組み、色彩世界の構造、色彩語、配色調和 ●美術大学、短大、専門学校希望に基づく授業内容の作成 推薦入試に向けたファイル作成 ・デッサン、着彩、色面構成 ・動物のデッサン、着彩 ・ペン画による物語の表現 ・選挙ポスターの作成(四つ切) ・油絵政策(F20号) それぞれが追究する題材を設定し、探究心を持ち取り組む姿勢を重視する	授業時間  <b>30</b>  時間
	2 学期	●各自の入試科目、進路に合わせた作品制作 ・進路先の傾向と対策を研究する ●塑像・立体制作 ・空間認知能力を高め、生活に存在する芸術について考える ●靴に着彩 ・白いキャンバス地の靴に着彩し、日常生活の個性について考える ・デザイン性 ・アイデンティティとは何か考える ・布に絵を描く技法を学ぶ	授業時間  <b>36</b>  時間
	3 学期	●進路に向けた最終調整、個人練習 ●入学試験のまとめと生徒の作品発表、講評会を行う	授業時間  <b>4</b>  時間
評価観点	●関心・意欲・態度:関心を持ち、意欲的に集中して取り組んでいるか ●思考・判断・表現力:豊かに発想・構成し表現できたか ●知識・技能:必要な知識や発想したものを表現する技能を身につけたか		
評価方法	●課題の提出作品の評価 ●出席状況と準備・片付けを含めた授業態度		
備考	授業の進度は、生徒の理解度や担当者の工夫により変わるため、計画通りに展開しないことがあります。		

## 令和5年度 シラバス（授業計画）

<b>教科名</b>	<b>外国語</b>	<b>単位数</b>	<b>2</b>	単位
<b>科目名</b>	<b>英語表現Ⅱ</b>	<b>対象学年</b>	<b>3</b>	学年
<b>科目分類</b>	<b>必修</b>	<b>授業形態</b>	<b>一斉</b>	授業
<b>教科書</b>	Empower English expression II	<b>担当者</b>	大坪・田村	
<b>使用教材</b>	Empower English expression II 英文法語法 Engage			
<b>学習内容</b>	<b>ねらい</b>	英語を通じて、自分の意見を適切に表現したり、伝えたりする基礎的な能力を養う。 ア. 文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。 イ. 英語で書かれた英文を暗記し、聞き手に伝えることができる。		
	<b>1学期</b>	Lesson1 文型 Lesson2 時制 Lesson3 完了形 Lesson4 助動詞 Lesson5 受動態 Lesson6 不定詞1 Lesson7 不定詞2	<b>24</b>	授業時間  時間
	<b>2学期</b>	Lesson8 動名詞 Lesson9 分詞 Lesson10 比較 Lesson11 関係詞1 Lesson12 関係詞2 Lesson13 関係詞3 Lesson14 仮定法1 Lesson15 仮定法2	<b>26</b>	授業時間  時間
	<b>3学期</b>	EXTRA LESSON 123 復習	<b>20</b>	授業時間  時間
<b>評価観点</b>	<p>話題について、学んだ文法・表現を使って文章を書くことができる。</p> <p>英語表現に関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで自己を表現しているか。</p> <p>さまざまな話題やテーマについて、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして適切に表現することができる。</p> <p>表現の基礎となる文法事項を理解し、さまざまな話題やテーマについて情報や考えなどを理解することができる。</p> <p>英語の学習を通して、言語や文化についての知識を身につけ、さまざまなテーマについての理解を深めることができる。</p>			
<b>評価方法</b>	<p>定期考査</p> <p>ワーク、ファイルなどの課題提出</p> <p>授業態度</p>			



## 令和5年度 シラバス（授業計画）

<b>教科名</b>	<b>外国語</b>		<b>単位数</b>	<b>3</b>	<b>単位</b>
<b>科目名</b>	<b>コミュニケーション英語Ⅲ</b>		<b>対象学年</b>	<b>3</b>	<b>学年</b>
<b>科目分類</b>	<b>必修</b>		<b>授業形態</b>	<b>一斉</b>	<b>授業</b>
<b>教科書</b>	GroveⅢ		<b>担当者</b>	大坪・田村・徳山	
<b>使用教材</b>	GroveⅢワークブック Listening Trial 2.5 スラスラ話するための瞬間英作文シャッフルトレーニング				
<b>学習内容</b>	<b>ねらい</b>	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。			
	<b>1学期</b>	UNIT1 Lesson1 Plastic Food Samples Lesson2 Cheese Rolling Lesson3 Chocolate Shortage Lesson4 Bamboo Trains Lesson5 The Animal Lounge Lesson6 Brinicles–Deadly Ice Fingers Lesson7 The Hemline Index Lesson8 Holiday Weight Gain Lesson9 Socotra Lesson10 NEWater:Singapore’s Recycled Water Lesson11 Bed Nets for African Lesson12 A Feathery Find in Amber	<b>36</b>	<b>授業時間</b>	<b>時間</b>
	<b>2学期</b>	Unit2 Lesson13 Snow Monkeys Lesson14 Spot Fake News Lesson15 EcoScraps:A Million-dollar Business Built on Trash Lesson16 Earth Hour Lesson17 The French School Lunch Lesson18 Sleep Position and Personality Lesson19 Lost Olympic Sports Lesson20 New Energy: Algae to oil Lesson21 Grandmothers as Solar Engineers Lesson22 The Sagrada Familia: a Spiritual wonder	<b>39</b>	<b>授業時間</b>	<b>時間</b>
	<b>3学期</b>	Unit3 Lesson23 Robot Farming Lesson24 The Invisible Gorilla Lesson25 The Svalbard Global Seed Vault	<b>30</b>	<b>授業時間</b>	<b>時間</b>
	<b>評価観点</b>	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 英語で話したり書いたりして、自分の考えを表現している。 英語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向を理解している。 言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。			
	<b>評価方法</b>	定期考査 単語テスト 授業態度、授業準備 ワーク、ノートなどの課題提出			
	<b>備考</b>				

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	外国語(英語)		単位数	2	単位
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ		対象学年	3	学年
科目分類	自由選択		授業形態	一斉	授業
教科書	なし		担当者	大坪	
使用教材	POLALIS 英文法2 POLALIS 英語長文2 英検分野別10分ドリル 2級				
学習内容	ねらい	大学受験に対応できる実践力と総合的な英語力の定着を図る。			
	1学期	Unit1 入試問題演習 Unit2 入試問題演習 Unit3 入試問題演習	授業時間		
		Listening 1~15 文法復習(小テスト) 共通テストリーディング	24 時間		
	2学期	Unit4 入試問題演習 Unit5 入試問題演習 Unit6 入試問題演習	授業時間		
Listening 16~26 語法イディオム復習(小テスト) 共通テストリーディング		26 時間			
3学期	Unit7 入試問題演習	授業時間			
		20 時間			
評価観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法を理解し、文を読んだり書いたりする力があるか。</li> <li>・英文を聞き取る力・読み取る力があるか。</li> <li>・積極的に授業に参加しているか。</li> </ul>				
評価方法	・定期考査、小テストと提出物の提出状況、授業態度などから総合的に評価する。				
備考	夏季休業を利用しての補習を予定している。				

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>情報</b>		単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>社会と情報</b>		対象学年	<b>3</b>	学年
科目分類	<b>必修</b>		授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	実教出版 高校社会と情報		担当者	伊藤/呉屋	
使用教材					
学習内容	ねらい	○情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解する。 ○情報通信ネットワークを適切に活用し、円滑にコミュニケーションを行う力を養う。 ○情報モラルやセキュリティを理解し、情報社会を生き抜く力を身に付ける。			
	1学期	情報社会と問題解決 コミュニケーション 情報モラル	授業時間	<b>24</b>	時間
	2学期	ネットワークの仕組み 情報セキュリティ	授業時間	<b>26</b>	時間
	3学期	総復習	授業時間	<b>20</b>	時間
評価観点	①知識・理解 ②技能 ③思考・判断・表現 ④関心・意欲・態度 を総合的に評価する				
評価方法	①平常点（出席率、授業態度、提出率） ②課題点（レポート、実技課題等） ③定期考査、小テストなど				
備考					

# 令和5年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>総合的な探究の時間</b>
科目名	<b>総合的な探究の時間</b>
科目分類	<b>必修</b>
教科書	なし
使用教材	なし

単位数	<b>1</b>	単位
対象学年	<b>3</b>	学年
授業形態	<b>一斉</b>	授業
担当者	前田剛・青柳・鳥羽・田村・渡邊・大坪・我妻	

学習内容	ねらい	進路実現に必要な知識を習得させる。 自己の進路に必要な資質の向上を意識させる。	
	1学期	進路面談 校外学習準備 同窓生講演 入試ガイダンス	授業時間  <b>12</b> 時間
		文化祭準備 面接、小論文指導 進路面談 入試ガイダンス	授業時間  <b>13</b> 時間
	3学期	演習、面接、小論文指導 大学共通テスト事前指導 受験報告書	授業時間  <b>10</b> 時間
評価観点		授業への取り組み	
評価方法	授業態度、出席状況、課題や提出物を基に総合的に評価する		
備考			